

年齢	24	歳	性別		男	○	女	初診	1986年冬季某日初診	作成日	2017.5.7
主訴	月経期が将に近づいて来ると、腰腹痛が激しくなり、少腹脹墜が1日続いている。										
病史	患者の月経は16歳で初潮があり、期間、量、色、質は正常だったが、後に経期中に大いに怒ることがあり、その後は毎月経前になると腰痛、腹痛、少腹脹墜になる。経行開始時の血量は少なく、色は紫暗で血塊があり、血塊が出ると則ち痛みが軽減するが、時には胸脇がまた脹痛する。										
現病歴	今回の月経はいつもと異なり、疼痛は激烈で、治療を求めて来た。										
四診所見 (検査)	<p>【望診・聞診・問診・切診】</p> <p>①診察室には腰を曲げ、腹を押さえて入ってくる</p> <p>②止むことのないうめき声</p> <p>③痛苦の表情</p> <p>④面色蒼白</p> <p>⑤頭や顔に冷や汗</p> <p>⑥少腹拒按</p> <p>⑦激怒の経験</p> <p>⑧腰腹痛</p> <p>⑨経血量少</p> <p>⑩血塊が出ると痛みが軽減</p> <p>⑪時には胸脇がまた脹痛</p>										
舌診	<p>⑫舌質紫暗</p> <p>⑬有瘀点</p>										
脉診	⑭脉沈洪										
病位弁証	【五臓：肝・心・脾・肺・腎】【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】【奇恒之腑：脳・隋・骨・脉・女子胞・命門・精室】										
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証】【寒証・熱証】【虚証・実証】【陰証・陽証】										
病性弁証											

病性弁証	
病因弁証	
病 機	
証 名	
弁証分析	
主要な 弁証類型	
治則治法	
配穴処方	
処方意義	
伝 変	
按 語	